

■芸術工学基礎区分カリキュラムの特色■

■カリキュラムポリシー

「芸術工学基礎」は、全学科に共通する専門教育基礎科目群と位置づけ、講義系科目と演習・実習系科目によって編成する。またそれぞれ授業科目は「アート・デザイン」分野、「デジタル」分野及び「総合」分野に該当する科目で構成されている。

「アート・デザイン」分野には、芸術工学の基本を学ぶ「芸術工学概論」を必修科目とするとともに、「デッサン基礎実習」「絵画基礎実習」「図学・製図基礎実習」をはじめとする基礎的技能を習得するための科目で構成する。

「デジタル」分野には、コンピュータや情報メディアを活用した表現力を修得する「コンピュータ基礎実習」「プログラミング基礎実習」をはじめとする多彩なコンピュータ・プログラミング関係の科目で構成する。

「総合」分野は、「アート&デザインプロジェクト」など、学科の分野を融合したプロジェクトを展開、共同で実践する中で考察を深化させ議論することで、コミュニケーション力や応用的思考力を修得できる科目で構成する。